

| | |
|---|---|
| カフェンストロール・シクロスルフアムロン・ダイムロン粒剤 ネビロス - ラジカルジャンボ | 取扱メーカー： O A T 原体メーカー： エス・ディー・エス, B A S F, エス・ディー・エス |
| 成分： カフェンストロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕…15.0% シクロスルフアムロン〔スルホニルウレア系〕………3.0% ダイムロン〔尿素系〕………30.0% | 性状： 類白色細粒（水溶性パック入り）1パック20g 毒性： 普通物 消防法： — |

【品目特性】

- 1回の処理でイネ科雑草を含む一年生雑草やウリカワなどの多年生雑草を抑える。
- 20 g パック剤を10 a 当り10個投げ入れるだけで中の粒剤が自らの力で拡散し、1パックで約1 a の広さを防除できる。
- 優れた自己拡散性があり、早くムラなく広がるので畦畔から散布が可能。
- 散布適期は田植後3日からノビエ2葉期まで。長期間にわたり効果が持続するので、残効切れを心配することなく早めの処理が可能である。
- パックのまま処理するので、散布する人や周辺作物に対して散布時の飛散のおそれがない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 本剤は、雑草の発生前から生育初期に有効のため、ノビエの2葉期までに時期を失ないように散布する。
- クログワイ、オモダカの防除に当っては、必要に応じて有効な剤と組み合わせて使用する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。各雑草の散布適期は以下のとおり。

| 雑草名 | 散布適期 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ホタルイ ミズガヤツリ | 2葉期まで |
| ウリカワ | 2葉期まで (東北、北陸、関東・東山・東海、九州は発生前期まで) |
| ヘラオモダカ | 発生前期まで (九州は発生前) |
| ヒルムシロ | 発生前期まで |
| セリ | 発生前～発生前 |
| クログワイ オモダカ アオミドロ・藻類による表層はく離 | 発生前 |

【薬効・薬害等の注意】

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 散布後数日間著しく高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認めない。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- いぐさ栽培予定田では使用しない。

【安全対策上の注意】

- 魚類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】

| 作物名 | 適用雑草名 | 適用 土壌 | 使用時期 | 10 a 当り 使用量 | 使用方法 | 適用地帯 | 本剤の 使用回数 |
|--------------|---|------------|---|---------------------------------|--|------------------------|-------------|
| 移植 水 稲 | 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道, 九州) クログワイ (北海道, 北陸を除く) オモダカ ヒルムシロ セリ (北海道) アオミドロ・藻類に よる表層はく離 (北陸を除く) | 砂壤土 ～植土 | 移植後 3 日～ ノビエ 2 葉期 但し, 移植後 30 日まで | 小包装 (パック) 10 個 (200 g) | 水田に小 包装 (パッ ク) のま ま投げ入 れる。 | 全域の普通 期及び早期 栽培地帯 | 1 回 ※ |

※カフェントロールを含む農薬の総使用回数 : 1 回

※シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※ダイムロンを含む農薬の総使用回数 : 3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内, 本田では 2 回以内)